

新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：前佛 和秀

事業の概要

事業名	一般国道57号 (熊本天草幹線道路) 宇土三角道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	熊本県宇土市上綱田町～熊本県宇城市三角町			延長	13.5km
事業概要					
熊本天草幹線道路は、熊本県熊本市を起点として、宇土市、宇城市、上天草市、天草市に至る計画延長約70kmの地域高規格道路である。当該道路は、熊本県宇土市上綱田町～宇城市三角町に至る延長約13.5kmの道路である。					
事業の目的、必要性					
本道路は、現道上の課題箇所の回避、災害時の代替路となる道路ネットワークの形成や、天草・宇城地域の農水産品の品質確保、物流効率化による地域経済活動を支援、交通混雑の解消により、天草・宇城地域への地域観光を支援するものである。					
全体事業費	約750億円	計画交通量	約8,700～13,700台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見

【熊本県知事】
新規事業採択時評価に係る「一般国道57号（熊本天草幹線道路）宇土三角道路」事業の予算化について同意いたします。
熊本天草幹線道路は、熊本市と天草市を結ぶ延長約70kmの路線であり、特に宇土三角間においては、集中豪雨による土砂災害や道路冠水が発生するなど、代替路がないため回避が困難な状況にあります。また、天草・宇土半島地域は世界遺産の三角西港や崎津集落など魅力ある観光資源に恵まれ、多くの観光客が訪れていますが、特に観光シーズンにおいては著しい渋滞が発生しています。これらの課題に対応し、代替路の確保や定時性・速達性向上を実現するためには、宇土三角道路の整備が急務であります。県としましても、事業が円滑に推進されるよう、埋蔵文化財調査の体制確保やICアクセス道路の整備及び国道266号へ接続する交差点の改良、三角大矢野道路との接続等について最大限協力いたしますとともに、沿線自治体と一体となり、用地取得やトンネル工事等により発生する建設発生土の処分に関する調整等についても積極的に取り組んで参ります。なお、幹線交通と域内交通及び生活交通などの利用形態を考慮し、並行する現道区間等の今後の管理のあり方については、貴省と議論を重ねていきたいと考えております。つきましては、「一般国道57号（熊本天草幹線道路）宇土三角道路」の令和3年度新規事業としての予算化に特段の配慮をお願いします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

- 新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

- 費用対便益：便益が費用を上回っている。
- 手続きの完了：計画段階評価手続き完了（R3.2）

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.5 (1.1)	総費用	1,205億円 (事業費:1,122億円 維持管理費:83億円)	総便益	1,750億円 (走行時間短縮便益:1,440億円 走行経費減少便益:224億円 交通事故減少便益:86億円)	基準年	令和2年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.3 (交通量 -10%)	B/C=1.6 (交通量 +10%)				
		事業費変動	B/C=1.3 (事業費変動 +10%)	B/C=1.6 (事業費変動 -10%)				
		事業期間変動	B/C=1.4 (事業期間変動 +20%)	B/C=1.7 (事業期間変動 -20%)				
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠				
		渋滞対策	-	・注目すべき影響はない。				
		事故対策	-	・注目すべき影響はない。				
	歩行空間	-	・注目すべき影響はない。					
	社会全体への影響	住民生活	-	・注目すべき影響はない。				
		地域経済	◎	・物流路線の走行性向上による農水産品の品質確保など、物流効率化により地域経済活動を支援 [平面線形不良箇所 (R≤150m) の回避] 【現況】38箇所 → 【整備後】0箇所 ・熊本市と観光地とのアクセス性・定時性が向上し、地域観光の発展を支援 [熊本市市街地～三角西港の移動時間] 【現況】86分 → 【整備後】67分 (往復38分短縮)				
		災害	◎	・災害時の代替路機能、救援・物資輸送機能が確保され、地域の孤立解消や安心・安全を確保 [宇城・天草地域の孤立の解消] 【現況】約4.9万世帯 → 【整備後】0世帯				
環境		-	・注目すべき影響はない。					
地域社会	-	・注目すべき影響はない。						
事業実施環境	○	・熊本県知事より宇土～三角間の早期事業化を要望						

採択の理由

費用便益比が1.5 (1.1) と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
熊本天草幹線道路（宇土三角道路）の開通により、現道上の課題箇所の回避、災害時の代替路となる道路ネットワークの形成や、天草・宇城地域の農水産品の品質確保、物流効率化による地域経済活動を支援、交通混雑の解消により、天草・宇城地域への地域観光を支援するなど、事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※B/Cの上段の値は熊本～天草を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果

新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性	
<p>本道路は、現道上の課題箇所の回避、災害時の代替路となる道路ネットワークの形成や、天草・宇城地域の農水産品の品質確保、物流効率化による地域経済活動を支援、交通混雑の解消により、天草・宇城地域への地域観光を支援するものである。</p>	
評価項目	地域の課題
防災	<ul style="list-style-type: none"> 近年頻発している豪雨により、国道57号、266号では、土砂災害や路面冠水による災害が発生。 両路線の同時全面通行止めで天草地域への道路が寸断し孤立（過去15年で3回）が発生。
産業	<ul style="list-style-type: none"> 宇城・天草地域で生産される宿根かすみ草（全国第1位）、洋ラン（全国第2位）は、熊本県が全国有数の出荷量を誇る。また、天草地域は、このしろ（漁獲量：全国第2位）は東京市場での取扱い量が全国第1位など、農水産物は全国各地へ輸送。 一方、国道57号等は道路線形が悪く、揺れにより花びらが落下し価値が低下するなど、地域特産品の物流を阻害。
観光	<ul style="list-style-type: none"> 宇城・天草地域は、自然や歴史・文化、温泉、海の幸など、魅力ある観光資源が豊富にあるが、熊本市から天草地域への移動には2時間以上を要するなど地理的に不利な状況。 さらに、国道57号は、観光シーズンの交通渋滞により、移動に通常の約3倍を要しており、時間が読めず、観光ツアーの計画が立てられないなど、観光地への定時性確保が課題。
その他	

事業の有効性								
<p>当該事業の実施により、脆弱度の評価がDランク→Cランクに改善するとともに、災害時の防災機能が強化される。</p> <p>また、本事業において、現道上の課題箇所の回避、災害時の代替路となる道路ネットワークの形成や、天草・宇城地域の農水産品の品質確保、物流効率化による地域経済活動を支援、交通混雑の解消により、天草・宇城地域への地域観光を支援するなど、有効性の高い事業と評価する。</p>								
道路ネットワークの防災機能	主な区間	改善ペア数	脆弱度（防災機能ランク）		累積脆弱度の変化量	改善度		評価
			整備前	整備後		通常時	災害時	
	熊本県庁 三角港	8 〔6〕	1.00 (D) 〔1.00〕 (D)	0.38 (C) 〔0.67〕 (C)	▲229.7 〔▲46.6〕	0.26 〔0.14〕	0.63 〔0.33〕	◎

事業の効率性	
<p>手続きの完了：計画段階評価手続き完了（R3.2）</p>	

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は熊本～天草を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象とした場合の防災機能評価結果